

## パン店訪問 働くイメージを 室蘭養護学校生が社会科見学

工場を見学した後、パンを購入する室蘭養護学校の生徒



室蘭市八丁平の室蘭養護学校中学部1年生約10人が23日、同市白鳥台のパン店「ベーカリーあけぼの」を訪れ、働く現場を肌で感じて仕事について学んだ。

社会科見学として取り組んだ。同店は2018年6月にオープン。障害者の就労などを支援する「活動支援施設あけぼの」の利用者らが働いている。

生徒は同店の工場を見学した後、メロンパンやチョココネパンなどを購入。従業員から商品を受け取る

と「ありがとうございます」とお礼を述べた。同校の木村健志教務部長は「従業員の姿を見て、子どもたちが働くことについて考えるきっかけになれば」と話した。

(渡辺愛梨)